

うつのみや



社協だより

令和4年4月20日 発行

編集発行 184号

社会福祉法人  
宇都宮市社会福祉協議会  
宇都宮市中央1丁目1番15号  
宇都宮市総合福祉センター内  
電話 028-636-1215(代)  
FAX 028-638-9856  
<http://www.utsunomiya-syakyo.or.jp>

宇都宮市社会福祉協議会

検索

## つながりをつなぐを絶やさない地域づくり

～コロナ禍でも地域で見守り～

## 陽光地区 ひとり暮らし高齢者見守り活動の継続



▲ ふれあい会食会の代わりに、お正月向けのお弁当をお届けしました。



▲ 陽光小学校児童の協力による絵手紙にチョコレートを添えてお届けしました。



## 明保地区

ひとり暮らし高齢者や  
高齢者のみ世帯の見守り活動で

「高齢者見守り安心ネットワーク」のスタッフ用ジャンパーを作成しました。コロナ禍にあってもスタッフのモチベーション向上のほか、視覚的にも分かりやすく、地域住民の安心にも繋がりました。

新型コロナウイルスの収束が見えない中、人と人とがお互いに距離をとり、接触する機会を制限することが求められ、地域福祉活動も休止や自粛を余儀なくされました。

コロナとの共存が続く中で、地域における見守りや交流活動をいかにして継続させていくか、様々な創意工夫がなされ、各地区において少しずつ広がりを見せています。

本会では、このような取り組みが円滑に実施されるよう、地区担当職員により、情報収集や好事例の発信、活動に対するアドバイス等の支援を行っています。

“うつのみや社協だより”は、

回覧

です。よろしくお願い申し上げます。



宇都宮市社協HP

## 感染対策の徹底や新たな方法で“できる形”

**瑞穂野地区** 認知症予防講座を開催 



▲受付方法や参加者の制限・連絡先の把握など感染予防対策を工夫・徹底し、安全に十分配慮しながら実施しました。(参加者39名)

**築瀬地区** 無料通話アプリにチャレンジ 



▲みんなで歌うことが活動の中心だったふれあい・いきいきサロンで無料通話アプリにチャレンジ。自宅に居ながら人のつながりが感じられました。(写真は発信者のサロン代表者：梅木さん)

【お問い合わせ】 地域福祉課（総合福祉センター5階）電話 636-1215 FAX 637-2020

## コロナ禍でもあきらめない **福祉共有**

**災害福祉救援ボランティア養成講座**



▲コロナ禍においても災害に対応できるようプログラムを見直し、フェイスシールドなど感染予防対策を講じて実施しました。(写真は言葉以外の伝達方法について学習の様子)

**福祉共有サポーター養成講座**



▲福祉やボランティア学習のステップアップを目的とした講座を初めてオンライン（YouTube配信）で開催しました。(写真は「福祉共有」について、講座を受講している様子)

【お問い合わせ】 ボランティアセンター（総合福祉センター8階）電話 636-1285 FAX 634-2870

令和4  
年度

# ボランティア養成講座

令和4年度に開催予定のボランティア養成講座をご案内します。

講座の詳細や申込方法などは、随時「ボランティアセンターホームページ」「広報うつのみや」などでお知らせしていきます。皆さまのご参加をお待ちしています。

## テーマで学んでみたい方

	講座名	内 容	開催予定
1	災害福祉救援 ボランティア養成講座	近年、大規模自然災害等が全国各地で発生しており、今や災害はいつ私達の身に降りかかるか分からない状況と言えます。日頃からできる減災策や、災害ボランティアについて学ぶ講座です。(全3回予定)	6月頃
2	サマーボランティア スクール	高校生や大学生を対象とした、夏のボランティア体験講座です。仲間と出会い、喜びや感動を分かちあう夏の思い出づくりに参加してみませんか?(全2回予定)	8月頃
3	傾聴ボランティア 養成講座	傾聴とは、相手の話を否定せずに受容し、心を傾けて聴くことです。傾聴の基本や技術などを、講義やロールプレイをとって学ぶ講座です。(全4回予定)	9月頃

## 体験したい、知りたい方

	講座名	内 容	開催予定
1	ぼらんていあSaturday ～聴覚障がいの理解～	「聞こえないってどんなこと？」 「手話を学ぼう」	7～8月頃 1～2月頃
2	ぼらんていあSaturday ～視覚障がいの理解～	「視覚障がいについて学ぼう」 「点字・アイマスクを体験してみよう」	
3	ぼらんていあSaturday ～発達障がいの理解～	「発達障がいってなんだろう？」 デモンストレーション、不自由体験 他	9～10月頃
4	ぼらんていあSaturday ～精神障がいの理解～	「精神障がいってなんだろう？」 「精神保健ボランティアについて」	9～10月頃

**善意銀行**

ご協力ありがとうございました。  
皆さまのあたたかい善意に心より感謝いたします。

使用済切手やプルタブによる益金は、宇都宮市内の地域福祉活動やボランティア活動の推進・支援に活用させていただきます。

寄附順・敬称略

令和3年12月～令和4年2月

預託者名	預託品等	預託者名	預託品等
下野川柳会	使用済切手	やしお会	使用済切手・プルタブ
邦和理工(株)	使用済切手・プルタブ	渡邊 千鶴	布団3組・タオル
(有)清明建設	使用済切手	宇都宮マロニエライオンズクラブ	使用済切手・プルタブ
(株)内山製作所	使用済切手	ゆたか団地豊寿会	プルタブ
三信電工(株)	使用済切手・プルタブ	(株)栃木銀行	使用済切手・プルタブ
匿名(2回)	4,000円	晋豊建設(株)	使用済切手
陽東地区社会福祉協議会	プルタブ	Mテクノ(株)	使用済切手
栃木県中部地区連絡会郵便局	使用済切手	鬼怒川空調(株)	使用済切手
上野建築	使用済切手・プルタブ	エステート住宅産業(株)	使用済切手
石網 正(3回)	プルタブ	寺内自動車	プルタブ
宇都宮駐屯地曹友会	10,000円		

【お問い合わせ】ボランティアセンター（総合福祉センター8階）電話 636-1285 FAX 634-2870  
ホームページもご覧ください。

宇都宮市社協ボラセン

Q検索



ボラセンQRコード

令和4年度

宇都宮市社会福祉協議会

事業計画

## 事業方針の概要

本会では、「福祉のこころをはぐくむ人づくり」「安心して暮らせる福祉の基盤づくり」「共に支えあう地域社会づくり」の3つの基本目標のもと、社会福祉協議会の役割と活動を精査しつつ、地区社会福祉協議会や宇都宮市をはじめ、多分野の関係機関・団体等と重層的かつ効果的な連携を図りながら、本会の有する機能と役割を最大限に発揮し、次の5つの事業を柱に、コロナ過であっても地域で暮らす誰もが安心して生活を送ることができるよう、さらなる地域福祉の推進に努めてまいります。



1

## 気軽に参加・参画できるボランティア活動の充実

住民のボランティア活動への参加・参画を促進するため、コロナ禍に対応したインターネットの活用などを図りながら、様々なボランティア講座の開催やボランティアの相談・調整を行うなど、近隣住民が助けあうことを基本としたボランティア活動を推進します。



▲出前福祉共育講座

4

## 身近な地域の中での住民相互の支えあい助けあい活動の充実

日常生活の中で、福祉的な支援が必要な方に対し、住民がお互いに支えあい助けあう活動を進めるため、地区社会福祉協議会や福祉協力員活動への支援強化や安心・安全情報キット配付事業などを推進します。



▲安心・安全情報キットの配付

2

## 危機管理対応力の強化

自然災害などの非常事態が発生した際にも、住民の安心・安全な生活の営みを支援するため、宇都宮市をはじめ、地区社会福祉協議会、ボランティア・NPO 団体などの関係機関との連携・協働体制を構築し、危機管理対応力の強化を図ります。



▲災害福祉救援ボランティアの養成

5

## 将来を見据えた地域における福祉の基盤づくりの支援

これからの福祉のまちづくりに向けた住民活動や取組みを支援するため、福祉のまちづくり計画（小地域福祉活動計画）の策定の支援や、ふれあい・いきいきサロン事業を推進するとともに、地域での包括的な福祉の基盤づくりを進めます。

▲地区社会福祉協議会  
地区会長等懇談会（研修会）

3

## 生活・福祉に関する相談支援体制の充実

身近な場所での相談や支援体制の充実を図るため、総合相談センター事業の推進や、判断能力が十分でない方の権利擁護、生活に困窮している方の生活支援など、関係機関・団体・施設等と連携して相談支援の多様化に向けた検討および相談支援体制の充実・強化を図ります。

▲総合支援資金  
特例貸付の相談

※ 具体的な事業計画の内容等につきましては、本会ホームページに掲載しております。是非ともご覧ください

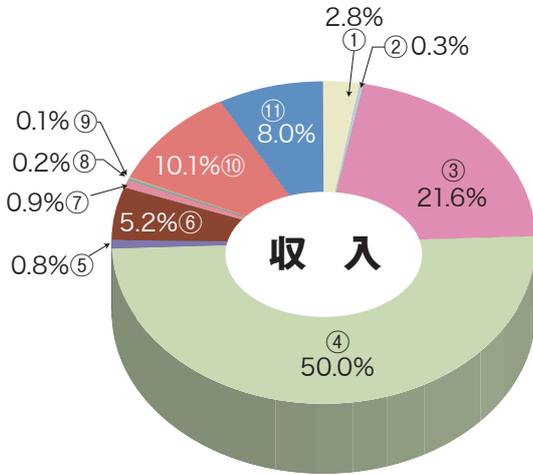
宇都宮市社協 HP  
QRコード

令和  
4年度

# 宇都宮市社会福祉協議会

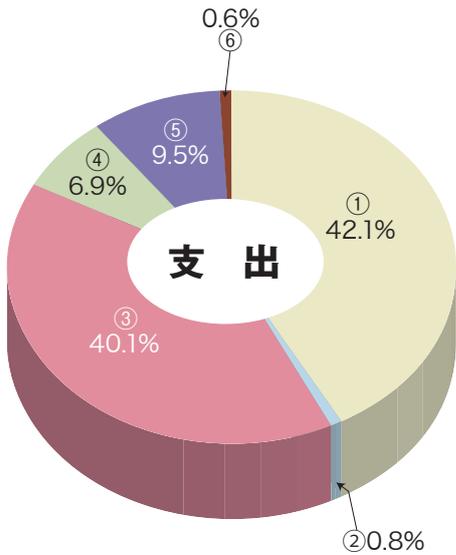
# 収支予算

収入 1,219,080千円



科 目	金額(千円)
① 会費収入	34,230
② 寄付金収入	3,331
③ 補助金収入	264,074
④ 受託金収入	609,813
⑤ 事業収入	9,786
⑥ 介護保険事業収入	63,800
⑦ 障害福祉サービス等事業収入	10,896
⑧ 受取利息配当金収入	2,016
⑨ その他の収入	251
⑩ 基金積立資産取崩収入	122,781
⑪ 前年度繰越金	98,102

支出 1,219,080千円



科 目	金額(千円)
① 地域福祉事業 ・法人運営・福祉活動推進事業・ボランティアセンター事業・総合相談センター事業・権利擁護・成年後見センター事業・ぎんなん基金事業・善意銀行事業・共同募金配分金事業	512,722
② 福祉資金貸付事業 ・生活福祉資金・社会福祉資金	9,798
③ 指定管理事業 ・総合福祉センター(2施設)・老人福祉センター(5施設)・障がい者福祉センター・地域活動支援センター(2施設)	488,900
④ 介護保険事業 ・訪問介護事業・通所介護事業・居宅介護支援事業・相談支援事業	83,816
⑤ 受託事業 ・地域包括支援センター(2施設)・日中一時支援事業・生活困窮者自立相談支援事業	116,343
⑥ 在宅福祉サービス事業 ・ファミリーケアサービス事業	7,501

## ぎんなん基金

ご協力ありがとうございました。

皆さまのあたたかい善意に心より感謝いたします。  
ぎんなん基金は地域福祉事業に活用させていただきます。



令和4年1月～3月

寄附順・敬称略

寄 附 者 ( 団 体 )	金額(円)
匿名 ( 4 件 )	326,073
スターライト友の会 代表 星 里美	16,437
高齢者等地域活動支援ポイント事業利用者685名	209,100
猪田 一良	1,073
チームなごみ栃木	100,000
宇都宮友の会	10,000
晋豊建設(株)	6,553
平石地区社交ダンス親睦会 会長 山口 哲男	30,500
(有)匠堂宇都宮 栃木美術倶楽部	5,000
黄ぶな愉快プロジェクト	20,000
市総合福祉センターお客様一同	2,159



▲平石地区社交ダンス親睦会からの寄附

【お問い合わせ】総務企画課(総合福祉センター1階) 電話636-1215 FAX638-9856

令和4年度  
宇都宮市  
社会福祉協議会

# 「会員会費」ご協力のお願い

## ○社協ってどんな団体？

宇都宮市社会福祉協議会(社協)は、市内全39地区に地区社会福祉協議会を設置し、すべての市民の皆さまが安心して生活できる福祉のまちづくりを推進するため、宇都宮市や市自治会連合会、市民生委員児童委員協議会などの関係機関・団体とともに、身近な地域における福祉活動やボランティア活動を推進する公共性・公益性の高い民間の非営利組織です。

会員会費の使い道(一例) ～会費は、全額、各地区や宇都宮市の福祉のために活用されています～

### 地区で実施されている福祉活動に

#### 認知症予防講座



▲瑞穂野地区社会福祉協議会

#### 笑顔であいさつ運動



▲河内地区社会福祉協議会

### 宇都宮市全域の福祉活動に

#### 地域みんなの居場所づくりに



▲ふれあい・いきいきサロン

#### 子どもたちの福祉のこころを育むために



▲出前福祉共育講座

#### ～会員の種類と会費額(年額)～

普通会員(各世帯)	300円 以上
特別会員(個人)	1,000円 以上
団体会員(社会福祉施設・団体・機関)	5,000円 以上
賛助会員(企業・事業所・個人)	10,000円 以上

#### 令和3年度会費実績額

**34,119,550円** (令和4年3月22日現在)  
(※普通会費、特別会費、団体会費、賛助会費)  
皆さまのご協力で厚く御礼申し上げます。

※会員会費(会員加入)は任意であり、強制ではありませんが、なにとぞ、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

【お問い合わせ】総務企画課(総合福祉センター1階)電話 636-1215 FAX 638-9856